



姫路

みなとミュージアム

～ Himeji Port Museum ～



〒672-8063 姫路市飾磨区須加 294 番地
(姫路ポートセンター2階)
TEL 079-234-7302

ACCESS

- 公共交通機関をご利用の場合
JR 姫路駅・山陽電鉄姫路駅から神姫バス「姫路港行き」(駅北1番のりば)約20分
山陽電鉄飾磨駅下車、徒歩5分。「飾磨工業高校前」から神姫バス「姫路港行き」約10分
- お車をご利用の場合
姫路バイパス中地ランプ出口を南へ約4.1km



- 開館時間
10:00～16:00
- 休館日
火曜日(火曜日が休日にあたるときはその翌日)
年末年始(12月28日～1月5日)
- 入館料
無料
- 駐車場
有料

播磨地方の海の玄関口

姫路港は瀬戸内海の東部、播磨地域の中央部の姫路市臨海部に位置する国際拠点港湾で、港湾区域は、東西約18kmにわたり、面積約7,700haを有しており、隣接する重要港湾東播磨港とともに、工業港として、我が国の経済に重要な役割を果たしています。

姫路港は、旧くは、瀬戸内海の交通の要衝として、城下町「姫路」を支える港として発展してきましたが、大きく発展したのは戦後であり、公共岸壁の整備と併せ、工場などの立地によって専用施設の整備が進められました。また、本港は、近畿のエネルギーの供給基地でもあり、発電所・LNG基地施設等が立地しています。

野田川の河口に開けた旧飾磨港(飾磨地区)は旧くは、「思賀麻江」と称し、瀬戸内海を往来する船はもとより、遣唐使の船も碇泊して賑わいました。西暦985年花山天皇行幸のおり「飾万津」と改称され、その後約1千年間内海航路の要衝として隆盛を極めました。

飾磨江は

漕ぎ過ぎぬらし

天佐う

日笠の浦に

波立てり見ゆ

(万葉集、巻七)



姫路みなとミュージアムへようこそ!

～海・みなと・銀の馬車道をテーマとしたミュージアム～
館内には比べてわかるグラフィックや、映像コーナー、
休憩コーナーなどもご用意しています。



姫路港に来た船の大きさ比べ



姫路港に来た船を40分の1サイズで紹介。
それぞれの船の大きさを体感してもらえます。

安らぎエリア



姫路港をながめながらゆっくり
休憩していただけます。

みなとと海エリア



それぞれの船の速さ比べ
START
それぞれの1秒!
タイムトライアル

姫路港の今昔の紹介や、操船ゲーム、
船に設置している鎖の大きさを体感するなど
みなとや海にまつわる情報を紹介しています。

銀の馬車道コーナー



生野銀山の歴史や馬車の造形の展示、
銀の馬車道クイズでわかりやすく学習してもらえます。

伝声管で聞いてみよう



船上での通信具として用いられる伝声管を天井に設置。
船上での伝達手段を体験してもらえます。

